

※注意：このシートは横浜市の
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。（200文字以内かつ9行以内）
	市街地開発事業等	綱島東口周辺地区（港北区）	R1～継続中	綱島東口周辺地区では、相鉄・東急直通線新駅が計画される中で、再開発・区画整理事業が進行している。ここで公共空間の利活用を想定した空間デザインを検討するとともに、一定のルールによる街並みの誘導施策や将来の街づくりの担い手となるエリアマネジメント体制の構築について、地権者及び事業者が中心となって検討を進めている。
	ルール又はプランづくり等	関内まちづくり振興会（中区）	H2～継続中	JR 関内駅前の旧市庁舎街区及び民間街区では大規模な開発事業が計画されており、隣接する関内地区では周辺開発との連携強化を含めた街の将来ビジョンの検討が進められている。ビジョンの深化と様々な施策の提案を行う上で、イベントを主体的に実施する地元有志、街づくりの専門家、学識経験者、開発事業者並びに行政によるサロン形式の会議体を設置し、検討を進めている。
	まち普請事業	東山田準工地域（都筑区）	H27～28	工場と住宅が混在する準工地域において、企業が主体となって、積極的にまちづくり活動を開始。何をしている工場なのかわからない、まち並みが暗い、防災対策に不安があるなどの課題に対して、住民や子供たちの参加を得て様々な取組を実施。まち普請事業では、課題意識とこれまでの取組が評価され、コンテストを通過。まちの案内を行うためのマップやポケットパークの整備を実施した。
	まち普請事業	宮ノ前テラス（泉区）	H29～30	地域コミュニティの拠り所である宮ノ前公園に隣接した敷地に、学童保育と併設となるコミュニティカフェを計画。地元町内会の協力を得て、地域福祉や教育分野で活躍する有志によって運営組織を設立。まち普請事業の採択を得て、厨房を中心とした内装の整備とともに、外構では舗装下地やかまどの制作を住民参加で行った。また、泉区役所・土木事務所の指導によって、公園から施設に直接アクセスできる柵の開放も実施した。
<p>自身の考えるコーディネーターの役割とまちづくりのポイント（500文字以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1996年以来、横浜市内の数多くの地域まちづくりの現場に関わっています。横浜市の都市景観上重要な地域地区のランドスケープデザインを手がける一方、地域のニーズと特性を捉え、それにふさわしい都市環境のあり方について幅広い提案を行っています。 ●地域住民、町内会、商店街、市民活動団体等が主体となったまちづくり活動や、事業の企画立案の検討から実践に到る総合的な支援を行います。地域における問題や課題の把握、それらを解決するための方向性や具体的な方策等について、みなさんとともに考え、実践し、ソフトとハード両輪での地域活性化を目指します。 ●人口減少社会、低成長経済などの厳しい社会情勢が続く中で、地球温暖化や頻発する自然災害がもたらす影響も甚大であり、私たちの暮らしや生業を取り巻く環境は大きな変革が求められています。私たちが生きる地域社会を持続可能なものとするためには、自らを取り巻く環境が何を望み、何を大切としているかを読み取り、そこから学び行動していく必要があると考えています。 				
<p>必要に応じて資料をA4判1ページまで添付できます。</p>				